



(企画セッション1)  
前日シンポジウム1  
JSCE24-1267 1.5単位

(1日目)  
海岸工学講演会  
JSCE24-1264 6.7単位

(企画セッション2)  
前日シンポジウム2  
JSCE24-1268 1.5単位

(2日目)  
海岸工学講演会  
JSCE24-1265 7.0単位

(企画セッション3)  
海岸工学現場見学会  
JSCE24-1269 3.0単位

(3日目)  
海岸工学講演会  
JSCE24-1266 5.7単位

## 「第71回海岸工学講演会」のご案内 2024年11月6日[水]ー8日[金]

海岸工学講演会は、神戸市で第1回（1954年）を開催して以来、今回で71回となります。多数の参加者のもとで、多数の論文発表が行われ、活発かつ有用な会議となっています。今回の発表数は288編で、秋田アトリオン（秋田市）において対面形式で開催することになりました。つきましては、斯界の研究者、技術者の皆様方、また、今後の斯界を担う院生、学生の方々の多数のご参加をお願いいたします。なお、詳細については、海岸工学委員会のホームページ（<https://coastal.jp/>）をご覧ください。

- 主催：土木学会（担当：海岸工学委員会）
- 後援：国土交通省東北地方整備局、秋田県、秋田市
- 期日：2024年11月6日（水）～8日（金）
- 会場：秋田アトリオン（秋田市中通2-3-8）  
アクセス：JR秋田駅西口徒歩約10分  
（詳細は<http://www.atorion.co.jp/access.html>を参照）

### ●「海岸工学講演会2024」のダウンロード版およびDVDについて

各論文の責任著者には、「海岸工学講演会2024」のダウンロード版をお送りいたします。責任著者への「海岸工学講演会2024」のDVDの郵送はありません。現地会場でのDVD販売もございません。

DVDをご希望の方は有料版をお申込みください。有料版のお申込みは、第71回海岸工学講演会への参加申し込みを済ませた方に限らせて頂きます。申し込みの詳細は海岸工学講演会ホームページ（<https://coastal.jp/>）をご参照ください。なお、DVDの発送は第71回海岸工学講演会終了後になります。

問合せ先：研究事業課 担当：那須 TEL：03-3355-3559

### ●発表時間

1題当たり発表時間12分、討議時間8分です。

### ●発表方法

対面のみの開催となります。講演者は、パソコンを持ち込み会場に準備されたプロジェクター（HDMI端子のみ接続可能）と接続する方法により発表して頂きます。

### 【懇親会】

日時：2024年11月7日（水）18時00分～20時00分

場所：ANAクラウンプラザホテル

参加費：7000円

申込方法：現地支払い（領収証はインボイスに対応していません）

### 【前日シンポジウム】

#### 企画セッション1

日時：2024年11月5日（火）16時10分～17時40分

場所：秋田アトリオン、ホール

テーマ：令和6年能登半島地震津波災害の教訓と日本海の津波災害の被害軽減に向けて

担当：沿岸災害デジタルツイン研究小委員会

#### 企画セッション2

日時：2024年11月5日（火）18時00分～19時30分

場所：秋田アトリオン、ホール

テーマ：気候変動適応におけるリアルオプションを考慮した沿岸まちづくり

担当：沿岸まちづくりにおける経済学的手法研究小委員会

### 【見学会】

日時：2024年11月5日（火）13:00（アトリオン集合）～16:00（アトリオン到着予定）

場所：秋田港（乗船とバスにより港内ならびにコンテナヤード等を見学）

定員：28名

### ●海岸工学講演会、前日シンポジウム、見学会の参加方法

参加無料です。それぞれの行事ごとに、土木学会ホームページの行事案内（<https://www.jsce.or.jp/events/>）にて「海岸工学」で検索）から事前の登録が必要です。各行事の登録後、現地会場での参加は直接、会場へお越しください。

●問合せ先：土木学会研究事業課 那須 TEL：03-3355-3559

### 海岸工学委員会からのお知らせ

小委員会からのお知らせ

・海岸工学論文集編集小委員会にて

今年度は、海岸工学講演会の投稿システムおよび審査が大幅に変更になりました。

これまでの第1段審査は「論文発表審査」となり、テキストのみの要旨で講演会での発表の可否を審査しました。論文発表審査を通過し、土木学会論文集への論文の掲載を希望される場合には、提出された論文原稿について、これまでの第2段審査と同様な「J-STAGE論文審査」として、土木学会論文集特集号用のEditorial Manager®を用いて、掲載の可否を審査しました。来年度も同様の審査手順ならびに審査方法となりますが、アンケートを通じて皆さまから頂いたご意見をもとに改善を図っていきます。海岸工学講演会の投稿および審査に関する情報を随時更新いたしますので、海岸工学委員会HP(<https://coastal.jp/>)をご確認ください。

#### ・ CEJ 小委員会

Coastal Engineering Journal は土木学会が編集し、Taylor & Francis 社が発行する 65 年の歴史を有する IF2022=2.4 の SCI 国際ジャーナル誌です。原著論文に加えて現地調査報告などの投稿カテゴリーがあり、海岸工学に関わる幅広いテーマの研究を取り扱っています。2024 年は「Progress of Ocean Wave Measurements」、2025 年は「Interdisciplinary Exploration of Coastal Morphodynamics」に関する特集号を企画しています。海岸工学講演会では、CEJ 投稿論文を本論文として講演することも可能です。詳細は以下のサイトをご覧ください。

<https://www.tandfonline.com/journals/tcej20>

#### ・ 沿岸まちづくりにおける経済的手法研究小委員会

本小委員会では、今後予想される海面上昇と高潮・高波による被害の拡大に対応する最適な沿岸まちづくり施策について研究することを目的としています。令和 2 年 7 月に「気候変動を踏まえた海岸保全のあり方」が提言され、全国の海岸管理者が、過去のデータに基づきつつ気候変動による影響を明示的に考慮した海岸保全対策へ転換し、RCP2.6 (2°C 上昇に相当) を前提に、影響予測を海岸保全の方針や計画に反映させようとしています。本研究小委員会では、現時点の情報で整備を計画するのではなく、時点が進むことで明らかになる情報があることを想定したリアルオプション理論の適用の必要性について提言し、具体的な方法について議論・検討しています。詳細については、以下のサイトをご覧ください。

<https://coastal.jp/about/subcommittee/economical-method-subcommittee/>

#### ・ 沿岸災害デジタルツイン研究小委員会

「沿岸災害デジタルツイン研究小委員会」は、沿岸環境を対象に物理世界と仮想世界（コンピュータ上）を連携させたサイバー・フィジカルシステム（Cyber-physical systems）を構築し、物理世界では時間的・コスト的に不可能といえるような様々な検討、設計、最適解探索を仮想世界で実行しそれを物理世界にフィードバックするという「デジタルツイン」のパラダイムを、土木工学、特に海岸工学に導入することを目的としています。本小委員会の活動は土木学会の令和 5 年度の重点研究課題としても認定されています。詳細については以下をご覧ください。

<https://coastal.jp/about/subcommittee/digitaltwin-subcommittee/>

#### ・ 広報・出版・web 開催小委員会

広報・出版・web 開催小委員会では、海岸工学委員会のサイトで「海岸工学にまつわる本の紹介コラム」(<https://coastal.jp/info/books/>) を掲載しています。現在、26 の書籍が紹介されています。ぜひご覧ください。

企業のみなさまへのお願いです。ダウンロード版および DVD の「海岸工学講演会」に収録される業界案内、および講演プログラムの広告枠をご活用頂き、海岸工学講演会の開催により一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 研究会および WG の紹介

現在、以下の 4 つの研究会が活動中です。

- ・ 波動と地盤の複合場における地盤材料の取扱方法に関する研究会
- ・ 沿岸域における気候変動適応策に関する研究会
- ・ 波動モデル研究会
- ・ 地域研究活性化 WG

各研究会の詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://coastal.jp/about/working-group/>

### 2024 年度 海岸工学論文賞および海岸工学論文奨励賞

#### 【海岸工学論文賞】

##### 講演番号 1

線形理論に基づく斜面上の波の遡上高と反射率について

磯部雅彦

##### 講演番号 87

令和 6 年能登半島地震津波による能登半島東岸域の津波浸水・被害調査

有田 守・榎田真也・二宮順一・郷右近英臣・熊谷健蔵・越村俊一・由比政年

##### 講演番号 202

吸い出しによる空洞陥没の二層フィルターを用いた復旧手法の研究

工代健太・佐々真志・梁順普・和田優希

#### 【海岸工学論文奨励賞】

##### 講演番号 45

擬似温暖化経路アンサンブル実験を用いた高潮・洪水による複合氾濫特性の評価

豊田将也（共著者：春山和輝，森 信人，金 洙列，吉野 純）

##### 講演番号 228

大阪湾における CO<sub>2</sub> 分圧の推定精度検証と CO<sub>2</sub> 吸収能の長期変化

小倉一輝（共著者：遠藤 徹）

##### 講演番号 282

3D LiDAR を用いた面的な海岸過程の観測と分析

岡田朋也（共著者：松葉義直，田島芳満）

#### 【CEJ 招待講演】

##### 講演番号 29

海面ビデオ映像に基づく輝度周期の導入と波浪パラメータ推定

田村 仁，細川真也，藤田 勇，大倉翔太，本間翔太，川口浩二